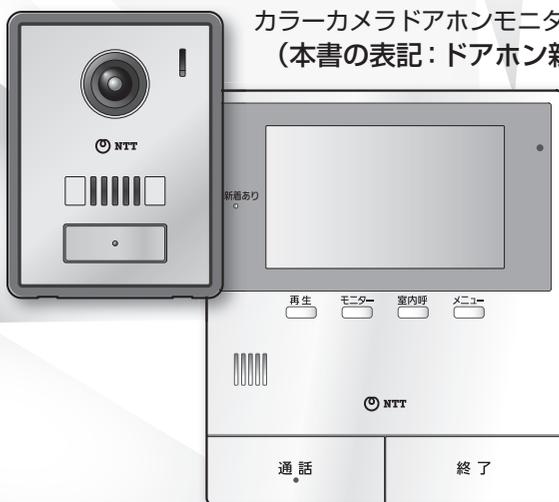




カラーカメラドアホン-P6 / カラーカメラドアホンモニター-P6 取扱説明書

カラーカメラドアホン-P6
(本書の表記: ドアホン)

カラーカメラドアホンモニター-P6
(本書の表記: ドアホン親機)



- 各商品の構成品は次のとおりです。
 - ・カラーカメラドアホン-P6: カメラドアホンのみ
 - ・カラーカメラドアホンモニター-P6: カメラドアホンとドアホン親機のセット

このたびは、カラーカメラドアホン-P6およびカラーカメラドアホンモニター-P6をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。
- 本書に掲載しているイラストや画面はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

● **本機は、盗難・侵入を阻止するものではありません。**
発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承願います。

確認と
準備

通話/
モニター

録画/
再生

他機器
との連携

その他
の機能
や設定

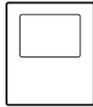
必要な
とき

はじめに

本商品は、次の機器と連携することでさらに便利なシステムとしてお使いいただけます。

別売の機器や連携機器

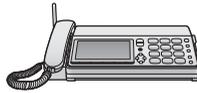
増設モニター(P.17)



1台のみ

来客応答やモニターのほか、ドアホン親機との室内通話もできます。

電話/ファクス(P.17)



1台のみ

電話/ファクスで、ドアホンの来客応答ができます。(別売品→P.32)

警報器/コール機器/ 非常ボタン(P.18)



いずれかを
1種類のみ

警報器の反応やコール機器/非常ボタンからの呼び出しを、本機にお知らせします。

増設スピーカー(P.18)

1台のみ

ドアホンの来客時などに本機に連動して呼出音が鳴ります。

光るチャイム/メロディサインなど(P.19)

いずれかを1種類のみ

ドアホンの来客時などに本機に連動して、光や音でお知らせします。

- 上記のほかに、ドアホンも付属と合わせて2台まで増設できます。

付属品の確認

不備な点がございましたら、当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店へお申し付けください。

〈ドアホン親機用〉

- 壁掛け金具..... 1個
- 壁掛け用木ねじ・小ねじ..... 各2個
- 電源カバーB..... 1個

〈ドアホン用〉

- 壁掛け用木ねじ・小ねじ..... 各2個

- 付属品は設置時に使用します。詳しくは工事説明書をお読みください。

もくじ



使ってみましょう 4

確認と準備

安全上のご注意	5
使用上のお願い	6
SDカードについて	7
各部のなまえとはたらき	8
日時(時計)の設定	10
映像のワイド/ズーム設定	11

通話/モニター

来客の呼び出しに応答する	12
ドアホン側の様子を見る(モニター) ...	13
室内の相手呼び出す(室内呼)	13

録画/再生

録画機能について	14
録画の仕様	14
SDカードの容量と 録画件数の目安	14
録画方法(自動録画/手動録画)	15
録画を再生する	16
画像を保護する	17
画像を消去する	17

他機器との連携

他機器と連携して使う	17
増設モニターとの連携	17
電話/ファクスとの連携	17
増設スピーカーとの連携	18
警報器・コール機器・非常ボタン との連携	18
光るチャイムや メロディサインなどとの連携	19

その他の機能や設定

表示に関する機能や設定	20
映像表示中にワイド/ズーム、 パン・チルトする	20
ガイドを消して映像全体を見る	20
ドアホンの照明を点灯させる	21
ドアホンの逆光補正をする	21
画面の明るさを変える	21
音に関する機能や設定	22
呼出音量を変える	22
呼出音の種類を変える	22
呼出音の鳴り分け設定をする	23
ドアホンからの受話音量を変える	23
ドアホンへの送話音量を変える	23
機能設定一覧(設定方法と一覧表) ...	24

必要なとき

お知らせや情報を見る	28
SDカード(フォーマット・録画の コピー・パソコン再生)	28
仕様	31
別売品	32
商標など	33
困ったとき	33
こんな表示が出たら	35
さくいん	36
保守サービスのご案内	37

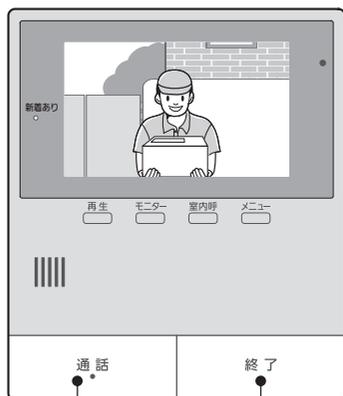


使ってみましょう

ご使用の商品にかかわらず、操作方法は同じです。

- ご使用前に必ず、日時設定をしてください。(P.10)

● 来客の呼び出しに应答する

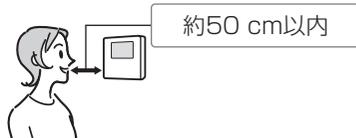


1

2

1 ピーンポンと鳴ったら、【通話】を押し、相手と話す

- 相手と交互に話してください。同時に話すと声が途切れます。



2 終わったら、【終了】を押し

● ドアホン側の様子を見る(モニター)

ドアホン側(玄関)の様子を、映像と音で確認できます。
(室内の声は外に聞こえません)



4

1

2

1 【モニター】を押し

- 映像が映り、周囲の音が聞こえます。



2 確認が終わったら、【終了】を押し

お知らせ

- ドアホンが2台接続されているときは、操作が異なります。詳しくは(P.13)

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

警告

火災・感電などを防ぐために

-  **禁止** ■ 分解・修理・改造しない
→ 修理は当社のサービス取扱所へご相談ください。
- めれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
- 雷が鳴ったら、ドアホン親機・電源プラグに触れない
- 湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない
- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
 - ・ 傷つける、加工する、熱器具に近づける、コードに過度なストレスを加える（無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど）（傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因）
 - 修理は当社のサービス取扱所へご相談ください。

警告

火災・感電などを防ぐために

-  **禁止** ■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100V以外での使用はしない
（たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因）
- 機器内部に金属物を入れない
→ 金属物が入った場合は、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 機器（電源コードを含む）に水をかけたり、ぬらしたりしない
→ ぬれた場合は、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って当社のサービス取扱所へご相談ください。
-  ■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む
（差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因）
→ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 電源プラグのほこりなどは定期的にとる
（プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因）
→ 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
- 煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切る
（そのまま使用すると、火災や感電の原因）
→ 使用を中止し、当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 電源プラグを抜くときは、プラグ本体（金属でない部分）を持って抜く
（コードを持って抜くと、コードの断線による火災・感電・やけどの原因）

警告

事故などを防ぐために



禁止

- SDカードは、乳幼児の手の届くところに置かない
(誤って飲み込むおそれあり)
→ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

注意

事故・けが・財産の損害などを防ぐために



禁止

- 不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない
(落下による破損やけがの原因)
- スピーカーに耳を近づけて使用しない
(急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こすおそれあり)

使用上のお願い

設置場所など、設置に関する内容は工事説明書をお読みください。

プライバシー・肖像権について

ドアホンの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

個人情報について

本機では、来客映像などの録画データ(個人情報)が、ドアホン親機の本体メモリー(内蔵)やSDカードに記録されます。これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

〈免責事項〉

記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

〈本機の修理を依頼するとき〉

- ドアホン親機の本体メモリー(内蔵)に記録された録画データは、修理依頼の前に必要に応じてSDカードにコピーし、ドアホン親機から取り出して保管してください。
- データの保管後、P.27「初期化」の「出荷時に戻す」を行い、ドアホン親機の本体メモリーに記録された情報を消去してください。
 - ・故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店までご相談ください。

〈本機を譲渡・廃棄・返却するとき〉

ご使用のSDカードはドアホン親機から取り出し、P.27「初期化」の「出荷時に戻す」を行ってドアホン親機の本体メモリーに記録された情報を消去してください。

- SDカードを廃棄・譲渡するときは(P.8)

お手入れについて

柔らかい布でから拭きしてください。

- 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞って拭いてください。

〈電源プラグを拭くとき〉

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色、変質の原因になります)

その他

- 電源プラグは、設置場所の近くで抜きやすい場所にあるコンセントに差し込み、異常が起きた場合にコンセントからすぐに抜けるようにしておいてください。
- 工事説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 使用を中止するときは、万一の落下防止のため、ドアホン親機、ドアホンを壁から取り外してください。電源線を直結している場合などは、取り外しを当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店にご相談ください。

SDカードについて

SDカードを使って最大3000件の映像を動画で録画できます。(P.14)

- SDカードがないとき
静止画(連続画像)を最大50件まで、ドアホン親機の本体メモリーに録画します。
- 本機にはSDカードは付属されていません。

本機で使えるSDカード

SD規格に準拠したSDメモリーカードに対応しています。(本書ではSDメモリーカードを総称して「SDカード」と記載しています)

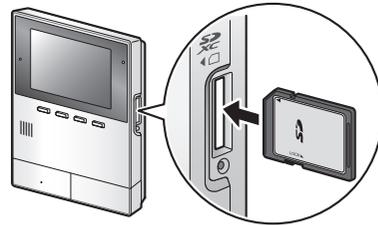
- 対応のSDカードの詳細は(P.31)
- SDカードの容量と録画件数の目安は(P.14)

SDカードを入れる／取り出す

SDカードは、ドアホン親機の画面が消灯している状態で挿入してください。

1 SDカードをまっすぐ押し込む

- 斜めにカットされた角を上に向けて押し込んでください。



■ SDカードを取り出すとき

SDカードの中央部分を押し、取り出してください。

- SDカード内のデータの保護のため、取り出しは、必ずトップメニューを表示させた状態で行ってください。(P.8)

お願い

- SDカードの裏の接続端子部に触れないでください。

SDカードの取り扱いについて

●大切なデータを保護するために

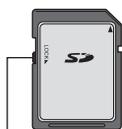
SDカードの取り出しは、必ずトップメニューを表示した状態で行ってください。SDカードのデータの読み出し中や書き込み中(録画・再生、画像消去中など)にSDカードを抜いたり、リセットスイッチ(右記⑪)を押したり、電源プラグを抜いたりすると、SDカード内のデータが破壊されることがあります。また、電磁波、静電気、本機やSDカードの故障などによってもSDカード内のデータが壊れたり、消失することがありますので、大切なデータはバックアップをとることをお勧めします。

データの損失などにより発生した損害について、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

- パソコンなど他の機器でフォーマットされたSDカードは、本機でフォーマットしないと使えません。大切なデータはパソコンなどに保存したあとフォーマットしてください。(P.28)

●SDカードの書き込み禁止スイッチについて

書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、録画や消去、フォーマットなどができなくなります。



書き込み禁止スイッチ

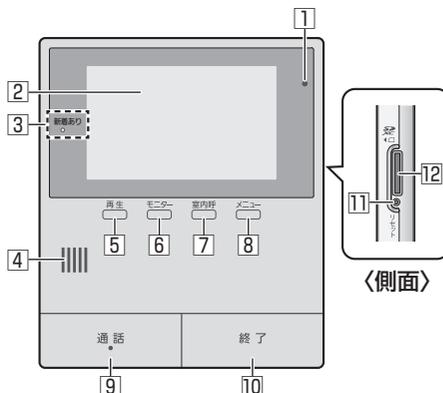
SDカードを廃棄・譲渡するとき

SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。本機やパソコンによる「フォーマット」や「消去・削除」では、SDカード内のデータは完全には消去されません。譲渡の際は、パソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。また廃棄の際は、SDカードを物理的に破壊するか、SDカード内のデータを完全に消去して、地域ルールに従って、分別廃棄をお願いします。

8

各部のなまえとはたらき

ドアホン親機



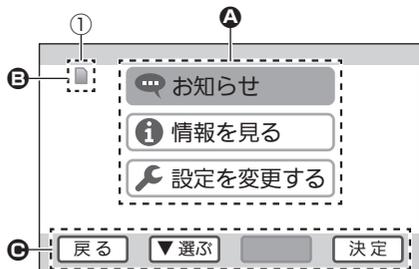
- ① **マイク**
- ② **液晶ディスプレイ**
- ③ **新着ありランプ(青)**
新しく録画した未確認画像があるときに点灯し、**[再生]** ボタンを押すと消灯します。
- ④ **スピーカー**
- ⑤ **[再生] ボタン**
録画を再生します。(P.16)
- ⑥ **[モニター] ボタン**
ドアホン側の様子を確認できます。(P.13)
- ⑦ **[室内呼] ボタン**
市販品の増設モニターを呼び出します。(P.13)
- ⑧ **[メニュー] ボタン**
トップメニューを表示します。(P.9)
- ⑨ **[通話] ボタン・ランプ(ボタン中央:青)**
ランプは、ドアホンからの着信中や室内呼の着信中に点滅、通話中は点灯します。
- ⑩ **[終了] ボタン**
- ⑪ **リセットスイッチ**
動作がおかしいときは、先端の細いもので押してください。(録画した画像、登録した設定内容などは消えません)
- ⑫ **SDカード挿入口**

- **[再生][モニター][室内呼][メニュー]** ボタンは、画面点灯時に画面下部に表示される機能(P.9の●)を操作するときにも使います。

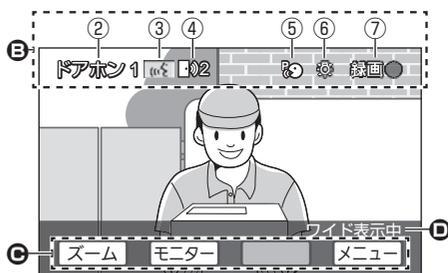
ドアホン親機の画面について

■ トップメニュー

日時設定後に【メニュー】ボタンを押すと表示されます。



■ 映像表示画面



Ⓐ 操作メニューを表示します。

メニュー	はたらき
お知らせ※1	お知らせ画面を表示します。 (P.28)
情報を見る	情報表示画面を表示します。 (P.28)
設定を変更する	設定画面を表示します。 (P.24)

※1 お知らせがないときは表示されません。

Ⓑ 現在の状態をアイコンなどで表示します。

番号	意味
①	SDカードの状態 : 通常の装着状態 : SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側の状態 (P.8) : 書き込み不可
②	表示映像の撮影機器※2 (ドアホン1~2)
③	撮影中の機器との通信状態 : 通話中 : モニター中 : 連携した電話/ファクスがドアホンと通話中
④	通話中・モニター中の別機器からの呼び出し※2 ~ : ドアホン1~2 (アイコンはピンク色で表示)
⑤	プレトーク通話中 (P.12)
⑥	ドアホンの照明が「ON」 (P.21)
⑦	録画中

※2 ドアホンを2台接続時のみ表示。

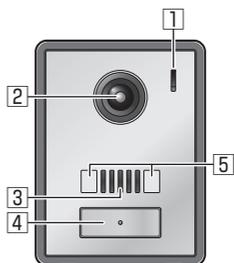
Ⓒ 操作場面ごとに有効な機能を表示します。
各機能は、それぞれ画面下の4つのボタン【再生】【モニター】【室内呼】【メニュー】で操作します。

操作時のボタン表記例：

【再生】 (戻る)、【メニュー】 (決定)

Ⓓ 操作案内、現在の状態説明などを表示します。

ドアホン



- ①マイク
- ②カメラレンズ
- ③スピーカー
- ④呼出ボタン・ランプ(ボタン中央:赤)
 - 接続したドアホン親機の電源が入るとランプが点灯します。
 - ボタンを押し続けながら話すと、「ただいまコール」がはたらかみます。
- ⑤LEDライト(照明用)

ただいまコールについて

室内側の応答を待たなくても、玄関先から室内側に「ただいま」などと呼びかけることができる機能です。

1 呼出ボタンを押したまま、約3秒後に呼びかけ、終わったら指を離す

- 呼びかけの声は、ドアホン親機にのみ聞こえます。
- ドアホン親機から聞こえる声の大きさは、P.25「呼出音量(ドアホン)」の設定に連動します。(「切」設定中は、音量「小」で聞こえます)

ドアホンの画質について

設置環境や使用する時間帯によって、来客や背景の明るさや色味が変わることがあります。詳しくは(P.33)

日時(時計)の設定

お買い求め時は日時が設定されていません。必ず設定してください。

- 未設定時は【再生】【メニュー】【終了】のいずれかを押したときに日時設定を促すお知らせ画面が表示されます。下記の手順で設定してください。

1 時計設定のお知らせ画面が出たら、【メニュー】(決定)を押す

- 日時設定の画面が表示されます。

2 下記の操作で日時を合わせる

【再生】(次へ▶)	年・月・日・時・分の項目を選ぶ
【モニター】(−)	数字を選ぶ (長押しすると数字が早く切り替わる)
【室内呼】(+)	

3 日時を合わせたら、【メニュー】(決定)を押す

お知らせ

- 停電時には設定した日時が消えることがあります。その際は再設定してください。
- 時刻は1か月に約60秒ずれることがあります。
- 日時の変更は、機能設定の「日時設定」で行います。(P.24)

映像のワイド/ズーム設定

映像を画面に映し出すときの表示のしかたを設定できます。

ワイド/ズーム設定

来客時やモニター時の表示を、それぞれワイド/ズームのどちらにするかを設定できます。

ワイド表示



ズーム表示



(お買い求め時の設定) (ワイド表示の約2倍)

- 1 【メニュー】を押す
- 2 【モニター】(▼選ぶ)で「設定を変更する」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 3 「最初の設定」が選ばれた状態で、【メニュー】(決定)を押す
- 4 【モニター】(▼)で「ワイド/ズーム設定」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 5 【モニター】(▼)で設定するドアホンを選び、【メニュー】(決定)を押す
- 6 【モニター】(▼)で「来客時」または「モニター時」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 7 【モニター】(▼)で「ワイド」または「ズーム」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 8 終わったら、【終了】を押す

お知らせ

- 「ズーム」に設定したとき
 - 録画の際は、画面に表示された範囲の映像しか録画されません。
 - ドアホンの設置場所によっては、来客が画面の端に映ったり、画面に映りきらない場合があります。「ズーム位置設定」でズーム位置を調整してください。

ズーム位置設定

映像をズームで映し出すとき、映像のどの位置をズームするかを設定します。

- 人物がなるべく中心に映るような位置を設定してください。

- 1 「ワイド/ズーム設定」の手順1～3を行う
- 2 【モニター】(▼)で「ズーム位置設定」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 3 【モニター】(▼)で設定するドアホンを選び、【メニュー】(決定)を押す
 - 現在の映像がズーム表示されます。
- 4 【モニター】(◀)または【室内呼】(▶)でズーム位置を選ぶ
 - 押すごとにズーム位置が切り替わり、現在の位置がズーム位置ガイドで表示されます。
- 5 【メニュー】(決定)を押す



ズーム位置ガイド

来客の呼び出しに 応答する

ドアホンの呼出ボタンが押されると呼出音が鳴り、相手の映像が映ります。応答すると、約2分間、通話ができます。

1 呼出音が鳴ったら、
【通話】を押し、相手と話す

2 終わったら、【終了】を押す

声で応答する(音声応答)

「音声応答」(P.25)の設定をしておく、ボタンを押さずに声で応答できます。

1 呼出音が鳴ったら、ドアホン親機に向かって「はい」などの声で応答し、相手と話す

2 終わったら、【終了】を押す

周囲が騒がしく話しにくいとき (プレストーク通話)

送話と受話を手動で切り替える通話方式です。自分や相手の周囲が騒がしいときでも声が伝わりやすくなります。

1 通話中、「ピッ」と鳴るまで
【通話】を約2秒間押す

-  が表示され、プレストーク通話に切り替わります。

2 相手と話す

■話すとき(送話)

【通話】を押したまま話す(押している間、相手の声は聞こえません)

■聞くとき(受話)

【通話】から指を離す
(こちらの声は相手に聞こえません)

お知らせ

- 着信(ドアホンからの呼び出し)は約30秒です。
- 通話時は、マイクから約50 cm以内で相手と交互に話してください。同時に話すと声が途切れます。
- 音声応答設定時は、周囲音(ペットの鳴き声、テレビの音、電話/ファクスの連携した呼出音など)に反応して応答してしまうことがあります。
- 「ただいまコール」(P.10)の呼びかけには、音声応答できません。
- ドアホンが2台あり、通話中に別のドアホンから呼び出しがあったときの動作や応答方法は(P.13左下の「お知らせ」)

ドアホン側の様子を 見る(モニター)

ドアホン側の様子を、映像と音で約3分間確認できます。

- モニター中、室内の声はドアホン側には聞こえません。

1 【モニター】を押す

- ドアホンが2台あるとき
機器の一覧が出たら、

【モニター】(▼選ぶ)でモニターしたいドアホンを選び、

【メニュー】(決定)を押す

2 表示された映像と音声を確認する

- ドアホン側の相手に話しかけるには
【通話】を押す

3 終わったら、【終了】を押す

お知らせ

- ドアホンが2台あり、モニター中や通話中に別のドアホンから呼び出しがあると、呼出音が鳴り、画面上部に着信を表すアイコン(P.9の④)が表示されます。
〈呼び出しに应答するには〉
 - ① 【終了】を押す
(通話やモニターが終了し、着信中のドアホン映像に切り替わります)
 - ② 【通話】を押し、来客と話す

室内の相手呼び出す (室内呼)

市販品の増設モニターを接続しているときは下記の操作で増設モニター側の相手呼び出し、話をする事ができます。

1 【室内呼】を押し、「ブー」音に続けて相手に呼びかける

- 相手が出たら、通話もできます。

2 終わったら、【終了】を押す

増設モニターからの室内呼び出しに
应答するには

1 「ブー」音や呼びかけが聞こえたら、 【通話】を押して話す

お知らせ

- 室内呼び出しは約30秒、室内通話は約60秒です。
- 室内呼び出し中や通話中にドアホンから呼び出しがあると、呼出音が鳴り、「ドアホン着信中」の表示が出ます。
〈呼び出しに应答するには〉
 - ① 【モニター】を押す
(室内呼び出しや通話が終了し、ドアホン映像に切り替わります)
 - ② 【通話】を押し、来客と話す

録画機能について

録画の仕様

SDカード挿入時はSDカードに動画で録画、SDカードがないときはドアホン親機の本体メモリーに静止画で録画します。(記録先は選べません)

記録できる内容や件数などは下表のとおりです。(録音機能はありません)

	ドアホン親機の 本体メモリー	SDカード (2 GB~128 GB)
録画内容	映像のみ	映像のみ
最大 録画件数	50件	3000件 ^{※1}
最大 保護件数	20件	20件
1件あたりの録画内容 ^{※2}		
着信時	約1秒おきの 連続画像 (最大8枚の 静止画)	動画 (最大約30秒)
モニター 時		
通話時	録画不可	録画不可

※1 録画件数は、SDカードの容量によって異なります。(件数の目安は右記)

※2 着信時・モニター時の録画方法などの詳細は(P.15)

お知らせ

- SDカードの取り扱いや使用可能なSDカードについては(P.8、31)
- 本体メモリーに記録した画像はSDカードにコピーできます。(P.29)
- SDカードに記録した画像はパソコンで再生できます。(P.29)

録画がいっぱいになったとき (録画の自動更新)

新しい画像を録画するために、古い画像から順に自動で消去されます。(手動で画像を消去しなくても、録画できます)
ただし、未確認の画像でも消去されるため、消したくない画像は保護設定してください。(P.17)

SDカードの容量と録画件数の目安

未使用のSDカードに録画をしたときの目安です。

容量	録画件数
2 GB	250件
4 GB	500件
8 GB	1000件
16 GB	2000件
32 GB	3000件 (録画件数の上限)
48 GB	
64 GB	
128 GB	

録画方法 (自動録画/手動録画)

着信時やモニター時の映像は、自動または手動で録画できます。

- 通話時の映像は録画できません。
- 録音機能はありません。

着信映像の録画(自動録画)

来客から呼び出しがあると、約2秒後に相手の映像を自動で録画します。(P.26「ドアホン自動録画」の設定:初期値「する」)

- ドアホンが2台あり、着信が重なったときあとの着信を優先して録画します。
(最初の録画は途中で中止されます)
- ドアホンとの通話・モニター中に別のドアホンから呼び出しがあったとき着信中のドアホン映像は、通話やモニターを終わらせて映像を画面に表示しないと、録画されません。

- 留守などで応答しなかったときの録画
未確認画像として記録され、新着ありランプの点灯で通知されます。

新着ありランプを点灯させたくないときは、P.27「新着ありランプ点灯」設定を「しない」にしてください。

モニター映像の録画(手動録画)

録画したいときに下記の操作をしてください。

- 1 モニター映像を表示中に、**【モニター】(録画)**を押す

お知らせ

- 録画中は、画面に「録画●」と表示されます。
- 来客に応答したときや、モニター時の録画は、録画再生の際に確認済み扱いになります。

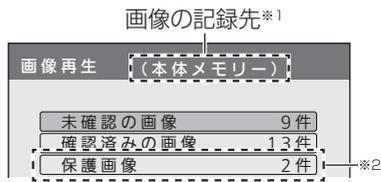
録画を再生する

新着ありランプが点灯しているときは、新しく録画された未確認画像があります。

- **【再生】** ボタンを押すと、新着ありランプは消灯します。

1 【再生】を押す

- 画像再生の一覧画面が表示されます。



- ※1 SDカード使用時は、(SDカード)と表示されます。
- ※2 保護設定(P.17)した画像のみ再生できます。

2 【モニター】(▼選ぶ)で再生する画像の項目を選び、【メニュー】(決定)を押す

- 選んだ項目の中で、日時の最も新しい画像が表示されます。



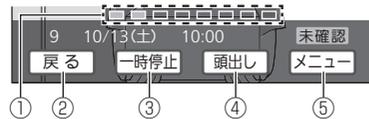
別の画像に切り替える

- ※3 **未確認** : 未確認の画像
- 保護** : 保護設定した画像

3 下記の操作で見た画像を再生する

【モニター】 (◀◀)	見た画像を選ぶ (長押しすると早戻し/早送りになる)
【室内呼】 (▶▶)	
【再生】	選んだ画像を自動コマ送りする

(自動コマ送り中の画面例)



(自動コマ送りの一時停止中の画面例)



番号	意味やはたらき
①	再生の経過を表示 ● 本体メモリー再生のとき 例: 2枚(コマ)目を再生 ● SDカード再生のとき
②	前の画面へ
③	再生の一時停止
④	再生中の画像の頭に戻って再生
⑤	再生中の設定メニューを表示 (詳細はP.17)
⑥	再生の再開(停止位置から再開)
⑦	前のコマへ
⑧	次のコマへ

4 終わったら、【終了】を押す

- SDカードをご使用の場合で、本体メモリーにも録画画像があるとき
P.16の手順1で、画面左下に  が表示されます。このとき **【再生】** ボタンを押すと、本体メモリーの再生画面に切り替えることができます。

- 画像再生中の設定メニューでできること
 - 画像に重なって表示されるガイドを消す (P.20)
 - 画像を保護または消去する (下記)
 - 画面の明るさを変える (P.21)

画像を保護する

最大保護件数は20件です。(P.14)

- 1 画像再生中に **【メニュー】** を押す
- 2 **【モニター】** (**▼選ぶ**) で「**保護**」を選び、**【メニュー】** (**決定**) を押す

保護解除するとき

- 1 保護画像を再生中に **【メニュー】** を押す
- 2 **【モニター】** (**▼選ぶ**) で「**保護解除**」を選び、**【メニュー】** (**決定**) を押す

画像を消去する

再生中の画像を個別に消去できます。

- 画像を全消去するには (P.26)
- 1 画像再生中に **【メニュー】** を押す
 - 2 **【モニター】** (**▼選ぶ**) で「**一件消去**」を選び、**【メニュー】** (**決定**) を押す
 - 3 **【モニター】** (**はい**) を押す

他機器と連携して使う

増設モニターとの連携

対応機種(市販品)を1台のみ接続できます。接続すると、増設モニターで来客応答やモニター、ドアホン親機との室内呼び出しや通話ができます。

- 接続・配線工事および対応機種については、当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ドアホン親機と増設モニター間でドアホン通話の転送はできません。
- 増設モニターで録画の再生はできません。

電話/ファクスとの連携

P.32の対応機種を1台のみ接続できます。接続すると、電話/ファクスで、ドアホンの来客応答ができます。

- 電話/ファクスの接続には、U-ドアホンボックスが必要です。(P.32)
- 接続方法は工事説明書をお読みください。
- ドアホン親機と電話/ファクス間での室内通話はできません。
- 本機で2台のドアホンをご使用の場合、電話/ファクスでは、2台のドアホン着信を表示で区別することはできません。(どちらも「ドアホン1着信中」となります)

増設スピーカーとの連携

対応機種(市販品)を1台のみ接続できます。接続すると、次の場面で本機に連動して増設スピーカーから呼出音や警報音などが鳴ります。

- 接続・配線工事および対応機種については、当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

本機に連動する場面

- ドアホン(来客)や増設モニターから呼び出しがあったとき
- 警報器・コール機器・非常ボタンから通知があったとき(右記)

警報器・コール機器・非常ボタンとの連携

対応機種(市販品)をいずれか1種類のみ接続できます。接続すると、警報器の反応やコール機器・非常ボタンによる呼び出しを、本機で通知できます。

- 接続・配線工事および対応機種については、当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 接続後は、P.27「外部入力」設定で次の内容を設定してください。
 - ① 機器の種類(警報器/コール機器/非常ボタン)
 - ② 機器の接点種別(A接点/B接点)
 - ③ <非常ボタン連携時のみ>
ドアホン(玄関子機)への通知方法

- 警報器(火災警報器など)が反応したとき
ドアホン親機※1で通知を行います。

ドアホン親機
音と表示で通知 音 : ピロピロピロピロン 表示 : 「警報器が反応しました」
通知時間 最大約3分(警報器の反応が終わると終了します)
通知音量 「大」(固定)

- コール機器から呼び出しがあったとき
ドアホン親機※1で通知を行います。

ドアホン親機
音と表示で通知 音 : ププー・ププー 表示 : 「コールです」
通知時間 最大約3分(コール機器からの呼び出しが終わると終了します)
通知音量 「大」※2

■非常ボタンが押されたとき

ドアホン親機※1や屋外のドアホン※3で通知を行います。

ドアホン親機	ドアホン
音と表示で通知 音：ピロピロピロ ピロピローン 表示： 「非常ボタンが 押されました」	音とLEDライトの 点滅で通知※4 音：ピロピロピロ ピロピローン
通知時間	
音による通知は最大約10分※5	
通知音量	
「大」(固定)	

- ※1 増設モニターを接続していると、ドアホン親機と同様に動作します。
- ※2 P.22「呼出音量」の設定で、「小」「切」にすることもできます。
- ※3 ドアホンを2台ご使用の場合も、通知ができるのはドアホン1だけです。
- ※4 P.27「外部入力」の設定で、ドアホンへの通知を「LEDライト点滅+警報音」にしている場合です。
- ※5 表示やLEDライトによる通知は、ドアホン親機や増設モニターの【終了】ボタンを押すまで継続します。

通知音をすぐに止めたいとき

1 ドアホン親機や増設モニターの【終了】を押す

- 音の鳴り始めから約5秒間は終了できません。

お願い

- 非常ボタンからの通知音を止めたあとは、非常ボタンを元の状態に戻してください。
- 警報器・コール機器・非常ボタンの点検時は、本機の動作も確認してください。

お知らせ

- 警報器・コール機器・非常ボタンからの通知は、ドアホンとの通信よりも優先されます。
 - ドアホン通話中などに通知があると、通話が切れて通知画面に変わります。
 - 通知画面を表示中は、ドアホンからの呼び出しを受けられません。
- 警報器・コール機器・非常ボタンからの通知は、「お知らせ」としてドアホン親機に記録されます。
 - 留守中などの異常は「お知らせ画面」を表示すると確認できます。(P.28)
 - 通知の履歴をあとで確認することもできます。(P.28「情報表示画面」の②)

光るチャイムやメロディサインなどとの連携

対応機種(市販品)をいずれか1種類のみ接続できます。接続すると、下記のように光るチャイムなどの機器が本機に連動します。

- 接続・配線工事および対応機種については、当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店にお問い合わせください。(接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください)

本機と連動する場面

- ドアホン(来客)から呼び出しがあったとき※1
 ドアホンが2台あると、どちらのドアホンの呼び出しにも連動します。特定のドアホンにだけ連動させるには、P.27「A接点出力」設定を変更してください。
- 警報器・コール機器・非常ボタンから通知があったとき※1 (P.18)

- ※1 本機で呼び出しに応答または警報器などからの通知を終了すると、A接点出力はOFFになります。(光チャイムなどの動作仕様は、ご使用の機器の説明書でご確認ください)

表示に関する機能や設定

画面の表示(見やすさ)に関する各種機能や設定を説明します。

映像表示中に ワイド/ズーム、パン・チルトする

ドアホンの映像表示中に、ワイド/ズームの切り替えやズーム位置の切り替え(パン・チルト)ができます。

ワイド/ズームを切り替える

- 1 ドアホンの映像表示中に**【再生】**を押す
 - 押すごとに切り替わります。

ズーム位置を切り替える(パン・チルト)

- 1 ズーム表示中に**【室内呼】(パン・チルト)**を押し、**【モニター】(◀▶)**または**【室内呼】(▶▶)**でズーム位置を切り替える

お知らせ

- 映像表示中にワイド/ズームやパン・チルトをしても、画面を終了して次に映像を表示するときは、P.11の「ワイド/ズーム設定」や「ズーム位置設定」に従って表示します。
- ズーム表示中に録画すると、画面に表示された範囲の映像しか録画されません。

ガイドを消して映像全体を見る

下記の場面で、映像(画像)に重なって表示される様々なガイド(P.9の③~⑤)を消すことができます。

- ドアホンの映像表示中
- 録画した画像の再生中

- 1 上記場面のいずれかで**【メニュー】**を押す
- 2 **【モニター】(▼選ぶ)**で「ガイド表示しない」を選び、**【メニュー】(決定)**を押す

- 3 **【モニター】(はい)**を押す
 - ガイドが消えます。

■ ガイドを再表示するには

- ① 上記手順1の操作をする
- ② **【メニュー】**を押す
- ③ **【モニター】(▼選ぶ)**で「ガイド表示する」を選び、**【メニュー】(決定)**を押す

ドアホンの照明を点灯させる

自動点灯機能を使う

夜間などで周囲が暗いときは、来客やモニター操作による映像表示の際に、ドアホンの照明が自動で点灯します。

- P.27「ドアホン照明自動点灯」設定
(初期値: する)

手動で点灯させる

- 1 ドアホンの映像表示中に【メニュー】を押す
- 2 【モニター】(▼選ぶ)で「表示の設定」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 3 【モニター】(▼選ぶ)で「照明」を選び、【メニュー】(ON)を押す



お知らせ

- 自動または手動で点灯した照明は、映像表示が終了すると消灯します。映像表示中に消灯させるには、上記手順3で【室内呼】(OFF)を押してください。

ドアホンの逆光補正をする

- 1 ドアホンの映像表示中に【メニュー】を押す
- 2 【モニター】(▼選ぶ)で「表示の設定」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 3 【モニター】(▼選ぶ)で「逆光補正」を選び、【室内呼】または【メニュー】で補正值(−/OFF/+)を選ぶ
 - 顔が暗く映るときは「+」、明るく映りすぎるときは「−」を選びます。

画面の明るさを変える

下記の場面で操作ができます。

- ドアホンの映像表示中
- 録画した画像の再生中

ドアホンの映像表示中の場合

- 1 【メニュー】を押す
- 2 【モニター】(▼選ぶ)で「表示の設定」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 3 【モニター】(▼選ぶ)で「明るさ」を選び、【室内呼】(暗く)または【メニュー】(明るく)を押す

画像を再生中の場合

- 1 【メニュー】を押す
- 2 【モニター】(▼選ぶ)で「明るさ」を選び、【室内呼】(暗く)または【メニュー】(明るく)を押す

音に関する機能や設定

音に関する各種機能や設定を説明します。

呼出音量を変える

次の場合の呼出音量を変更できます。

- ドアホンからの呼び出し
- 増設モニターからの呼び出し(室内呼)
- コール機器からの呼び出し

- 1 【メニュー】を押す
- 2 【モニター】(▼選ぶ)で「設定を変更する」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 3 【モニター】(▼)で「呼出音の設定」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 4 【モニター】(▼)で「呼出音量」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 5 【モニター】(▼)で音量を変えたい項目を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 6 【モニター】(▼)で音量を選び、【メニュー】(決定)を押す
 - 「切」を選ぶとメッセージが表示されます。確認後に【モニター】(はい)を押してください。
- 7 終わったら、【終了】を押す

呼出音の種類を変える

ドアホンからの呼出音(音の種類と鳴りかた)を変更できます。

■ 呼出音の種類

音1	ピーンポーン
音2	ピーンポーンピーンポーン
音3	ポーンポーンポーン

- 1 【メニュー】を押す
- 2 【モニター】(▼選ぶ)で「設定を変更する」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 3 【モニター】(▼)で「呼出音の設定」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 4 【モニター】(▼)で「呼出音」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 5 【モニター】(▼)で設定を変えたいドアホンを選び、【メニュー】(決定)を押す
- 6 【モニター】(▼)で音を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 7 【モニター】(▼)で鳴りかたを選び、【メニュー】(決定)を押す
- 8 終わったら、【終了】を押す

呼出音の鳴り分け設定をする

次の室内機器に対して、ドアホン(1、2)から着信させるかどうかを設定できます。

- ドアホン親機
- 増設モニター
- 電話/ファクス
- お買い求め時は、各機器ともすべてのドアホンから着信する設定です。

- 1 【メニュー】を押す
- 2 【モニター】(▼選ぶ)で「設定を変更する」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 3 【モニター】(▼)で「応答の設定」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 4 【モニター】(▼)で「鳴り分け」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 5 【モニター】(▼)で鳴り分け設定する機器を選び、【メニュー】(決定)を押す
 - 電話/ファクス(U-ドアホンボックスを使用)の設定をするときは、「拡張機器: ドアホンアダプター」を選んでください。
- 6 【モニター】(▼)で着信させたくないドアホンを選び、【メニュー】(決定)を押す
- 7 【モニター】(▼)で「鳴らない」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 8 終わったら、【終了】を押す

お知らせ

- 次の場合は、「鳴らない」に設定したドアホンからも着信します。
 - ドアホンとの通話中・モニター中
 - 室内呼び出し中、室内通話中

ドアホンからの受話音量を変える

ドアホンとの通話やモニターで室内側に聞こえる音量を変更できます。

- 1 ドアホンとの通話・モニター中に【メニュー】を押す
- 2 【モニター】(▼選ぶ)で「音の設定」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 3 【モニター】(▼選ぶ)で「受話音量」を選び、【室内呼】(小さく)または【メニュー】(大きく)を押す

ドアホンへの送話音量を変える

ドアホンとの通話で玄関(ドアホン側)に聞こえる室内音声の音量を変更できます。

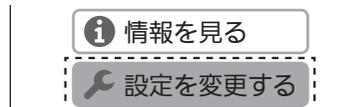
- 1 ドアホンとの通話・モニター中に【メニュー】を押す
- 2 【モニター】(▼選ぶ)で「音の設定」を選び、【メニュー】(決定)を押す
- 3 【モニター】(▼選ぶ)で「送話音量」を選び、【室内呼】(小)または【メニュー】(標準)を押す

機能設定一覧(設定方法と一覧表)

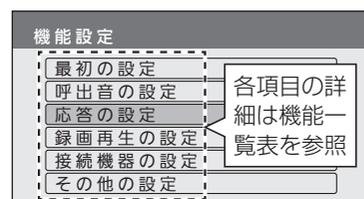
待機中に、下記の操作で各種設定を変更できます。

- 1 【メニュー】を押す**
 - トップメニュー(①)が表示されます。
- 2 【モニター】(▼選ぶ)で「設定を変更する」を選び、【メニュー】(決定)を押す**
 - 設定の項目一覧(②)が表示されます。
- 3 【モニター】(▼)で設定する項目を選び、【メニュー】(決定)を押す**
 - 選んだ項目の機能一覧(③)が表示されます。
- 4 【モニター】(▼)で設定する機能名を選び、【メニュー】(決定)を押す**
 - 選んだ機能によってはサブメニューが表示される場合もあります。表示に従ってこの操作を繰り返してください。
- 5 【モニター】(▼)で設定内容を選び、【メニュー】(決定)を押す**
 - 機能によってはこの操作を繰り返し行い、設定完了後に【終了】を押してください。
 - 設定内容の選択時に確認メッセージが表示される場合もあります。表示に従って操作をしてください。

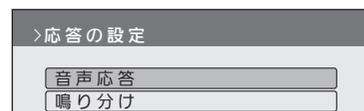
① トップメニュー



② 設定の項目一覧



③ 機能一覧(例)



「●」が現在の設定

「最初の設定」の機能一覧

機能名	設定内容など	初期値
日時設定	● 日時の変更ができます。日時の設定画面が出たら、P.10「日時(時計)の設定」の手順2～3を行ってください。	2017年 1月1日 0時00分

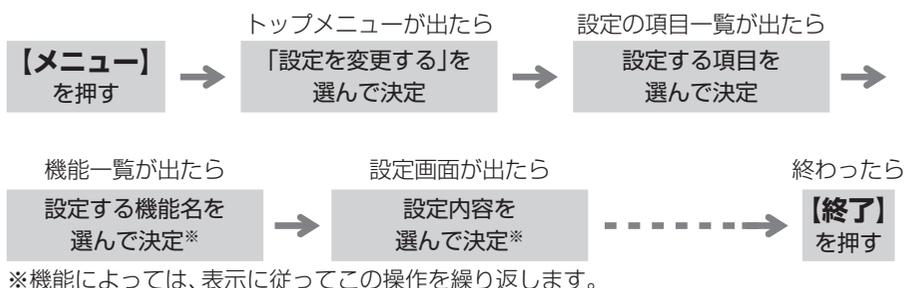
「最初の設定」の機能一覧(つづき)		
機能名	設定内容など	初期値
ワイド/ ズーム設定	ドアホンごとに設定(ドアホン1、2) 来客時 :ズーム、ワイド モニター時:ズーム、ワイド ● ドアホンの来客時やモニター時の映像表示のしかたをそれぞれ設定できます。(詳細はP.11)	ワイド
ズーム位置 設定	ドアホンごとに設定(ドアホン1、2) ● ズーム画面のとき、最初に表示する位置を設定します。(詳細はP.11)	ワイド画面の 中央

「呼出音の設定」の機能一覧		
機能名	設定内容など	初期値
呼出音量	ドアホン:大、中、小、切 ● 詳細は(P.22) 室内呼 :大、中、小 外部入力(コール機器):大、小、切	大
呼出音	ドアホンごとに設定(ドアホン1、2) (音の種類):音1、音2、音3 (鳴りかた):押すたび(押すたびに鳴る)、 繰り返し(5秒ごとに鳴る)	(ドアホン1) 音1、押すたび (ドアホン2) 音2、押すたび

「応答の設定」の機能一覧		
機能名	設定内容など	初期値
音声応答	する、しない ● ドアホンからの呼び出しに音声応答(P.12)できるようにするには「する」を選びます。「(する)」に設定しても通話ボタンでの応答はできません)	しない
鳴り分け		
親機		
増設モニター	ドアホン1:鳴る、鳴らない ドアホン2:鳴る、鳴らない ● 詳細は(P.23)	鳴る
拡張機器・ ドアホンアダ プター※1		

※1 U-ドアホンボックスをご使用の場合はこの項目を選んでください。

設定のしかた (詳しくはP.24)



「録画再生の設定」の機能一覧

機能名	設定内容など	初期値
ドアホン録画 開始時間	標準、遅い ● ドアホン着信時の自動録画で、夜間などの映像が映りにくいときは「遅い」を選びます。 「標準」: 呼び出しの約2秒後に録画を開始 「遅い」: 呼び出しの約3秒後に録画を開始	標準
ドアホン自動 録画	ドアホン1: する、しない ドアホン2: する、しない ● ドアホン着信時に自動録画をするかしないかを選びます。自動録画機能の詳細は (P.15)	する
画像 全消去	本体メモリー: すべての画像を消去、保護画像を残して消去 SDカード: すべての画像を消去、保護画像を残して消去	—
SDカードの フォーマット	● 詳細は (P.28)	—
本体からSD カードへの コピー	● 詳細は (P.29)	—

「接続機器の設定」の機能一覧

機能名	設定内容など	初期値
ドアホン 接続	ドアホン1: あり、自動判定、なし ドアホン2: あり、自動判定、なし ● 使用をやめてドアホン親機から取り外すときは「なし」を選びます。	(ドアホン1) あり (ドアホン2) 自動判定

「接続機器の設定」の機能一覧(つづき)		
機能名	設定内容など	初期値
増設モニター	あり、なし ● 使用をやめてドアホン親機から取り外すときは「なし」を選びます。	あり
A接点出力	ドアホン1：ON、OFF ドアホン2：ON、OFF ● 光るチャイムなどA接点出力端子に接続した機器は、この設定が「ON」のドアホン着信に連動します。連動させたくないドアホンは「OFF」に設定してください。	ON
外部入力	(接続する機器を設定)：警報器、コール機器、非常ボタン ● 機器を選択後、接点種別を設定 ：A接点(メーク)、B接点(ブレーク) ● 「非常ボタン」を選択時はさらに、ドアホンへの警報通知のしかたを設定 ：LEDライト点滅+警報音、LEDライト点滅のみ、警報なし ● 外部入力端子に接続する機器の種類と接点種別を選びます。非常ボタンを選んだときは、ドアホンへの警報通知の方法も設定できます。	警報器、 A接点 (メーク)
ドアホン照明自動点灯	ドアホンごとに設定(ドアホン1、2) 来客時：する、しない モニター時：する、しない ● ドアホンの映像表示の際(来客時やモニター時)、外が暗いときに自動でドアホンの照明(LEDライト)を点灯させるかどうかを選びます。	する

「その他の設定」の機能一覧		
機能名	設定内容など	初期値
新着ありランプ点灯	する、しない ● 新しく録画した未確認画像があっても、新着ありランプが点灯しないようにしたいときは、「しない」を選びます。	する
初期化	設定を元に戻す、本体メモリー画像全消去、出荷時に戻す ● 本機を譲渡・廃棄・返却するときは、「出荷時に戻す」を選びます。	—
展示モード(販売店専用)	ドアホン自動呼出なし、ドアホン自動呼出あり、しない 通常は使わないでください。(店頭販売時の展示用)	しない

お知らせや情報を見る

トップメニューから本機のお知らせや情報を見ることができます。



① お知らせを見る

次のいずれかの場合に操作メニューが表示され、詳細をお知らせ画面で確認できます。

- エラーなどが発生したとき
- 警報器・コール機器・非常ボタンから通知を受けたとき

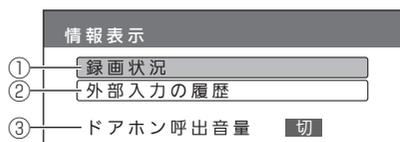
1 トップメニューを表示中に、【モニター】(▼選ぶ)で「お知らせ」を選び、【メニュー】(決定)を押す

- お知らせ画面が表示されます。内容を確認し、表示に従って必要な操作をしてください。

2 終わったら、【終了】を押す

② 情報を見る

情報表示画面を表示して、次の情報を確認できます。



- ①現在の録画先と空き容量の目安を表示します。
- ②連携した警報器・コール機器・非常ボタンからの通知履歴を表示します。(最新の30件)
- ③ドアホンからの呼出音量(現在の設定内容)を表示します。

1 トップメニューを表示中に、【モニター】(▼選ぶ)で「情報を見る」を選び、【メニュー】(決定)を押す

- 情報表示画面が表示されます。

■録画状況や外部入力の履歴を見るには【モニター】(▼選ぶ)で項目を選び、【メニュー】(決定)を押す

2 終わったら、【終了】を押す

SDカード(フォーマット・録画のコピー・パソコン再生)

SDカードをフォーマットする

パソコンなどの他機器で使用していたSDカードをフォーマットする際は、事前にSDカード内の大切なデータをパソコンなどに保存してください。フォーマットするとデータはすべて消去されます。

1 フォーマットしたいSDカードを入れて、【メニュー】を押す

2 【モニター】(▼選ぶ)で「設定を変更する」を選び、【メニュー】(決定)を押す

3 【モニター】(▼)で「録画再生の設定」を選び、【メニュー】(決定)を押す

4 【モニター】(▼)で「SDカードのフォーマット」を選び、【メニュー】(決定)を押す

5 メッセージを確認して【モニター】(はい)を押す

6 フォーマットが終わったら、【終了】を押す

本体メモリーの録画データをSDカードにコピーする

ドアホン親機の本体メモリーに記録した録画データを、SDカードにまとめてコピーできます。

- コピーするには、SDカードに16 MB以上の空き容量が必要です。
- コピーしたデータは、SDカードの「PRIVATE」フォルダーの中にある「BACKUP」フォルダーに保存されます。(フォルダー構造についてはP.30)
- 同じSDカードに再度コピーを行う場合、すでに「BACKUP」に保存されている録画データはすべて消去されます。(上書きコピー)
- コピーしたデータは、パソコンでのみ再生できます。(ドアホン親機では再生できません)

- 1 コピー用のSDカードを入れて、**【メニュー】**を押す
- 2 **【モニター】** (**▼選ぶ**) で「設定を変更する」を選び、**【メニュー】** (**決定**) を押す
- 3 **【モニター】** (**▼**) で「録画再生の設定」を選び、**【メニュー】** (**決定**) を押す
- 4 **【モニター】** (**▼**) で「本体からSDカードへのコピー」を選び、**【メニュー】** (**決定**) を押す
- 5 メッセージを確認して**【モニター】** (**はい**) を押す
- 6 コピーが終わったら、**【終了】** を押し、SDカードを取り出す

データをパソコンで再生する

SDカードに記録した画像・映像データはパソコンで再生することができます。

- 画像 (JPEG形式) は、JPEG形式に対応した画像閲覧ソフトで再生できます。
- 映像 (Motion JPEG形式) は、QuickTime Playerで再生できます。Windows Media Playerでも再生できません。



- 再生に使用するソフトの対応OSによっては、正しく再生されない・正しく動作しない場合があります。
- 再生操作のしかたは、パソコンの取扱説明書または再生ソフトの取扱説明書をお読みください。

フォルダー構造とファイル形式

SDカードへの録画や録画データのコピーをする際に、次のフォルダーが自動的に作成されます。

④SDカード録画用フォルダー

③本体メモリー（ドアホン親機）の録画データのコピー用フォルダー

SDカードに直接記録したデータは④、本体メモリーからコピーしたデータは③に保存されるので、別々に管理できます。

お願い

- パソコンでフォルダーやファイルの消去をしたり、名称の変更をしたりしないでください。本機で再生できなくなります。

④SDカード録画用フォルダー

■ フォルダー構造の例

DCIM/100_Z50

①

- ① フォルダー番号（100～129）
他機器で記録済みのSDカードをご使用の場合、フォルダー番号は100～999になります。

■ ファイル形式の例

DR1_0001.JPG

② ③ ④

- ② 撮影機器名
● DR1～DR2：ドアホン1～2
- ③ ファイル番号
録画1件につき、同一番号が割り当てられます。1つのフォルダーに作成されるファイル番号は0001～0100です。
- ④ ファイルの種類
録画1件につき、下記のファイルが作成されます。
● JPG：静止画（JPEG形式）
● MOV：動画（Motion JPEG形式）
● TXT：録画情報（TEXT形式）

③本体メモリー（ドアホン親機）の コピー用フォルダー

■ フォルダー構造の例

PRIVATE/PANA_GRP/DOOR/
BACKUP/20201013

①

- ① 録画した日付
例は、2020年10月13日を示しています。

■ ファイル形式の例

13450000.JPG

② ③ ④ ⑤

- ② 録画した時刻
例は、13時45分を示しています。
- ③ カウンタ番号
録画1件につき、同一番号が割り当てられます。
- ④ 録画1件あたりの画像番号
● 00：画像情報ファイル
● 01～08：8枚中の画像番号
- ⑤ ファイルの種類
録画1件につき、下記のファイルが作成されます。
● JPG：静止画（JPEG形式）
● TXT：録画情報（TEXT形式）

仕様

ドアホン親機(モニター親機)

電源	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)
消費電力 (消費電流)	待機時: 約 1.4 W 動作時: 約 8.5 W (約 0.18 A)
外形寸法 (mm) (高さ × 幅 × 奥行)	約 186 × 161 × 23 (突起部除く)
質量	約 540 g
使用環境 条件	周囲温度: 0 °C ~ +40 °C 湿度: 90 % 以下
画面表示	約 5 型ワイド カラー液晶ディスプレイ
通話方式	音声交互自動切替方式
取付方法	露出壁掛け (壁掛け金具付属)
A 接点出力 端子 ^{※1}	定格負荷: AC、DC 24 V / 0.3 A 以下 最小適用負荷: DC 5 V / 1 mA
外部入力 端子	入力方式: 無電圧メーク接点 検出確定時間: 0.1 秒以上 接点抵抗値: ●メーク時: 500 Ω 以下 ●ブレーク時: 15 kΩ 以上 端子間短絡電流: 5 mA 以下 端子間開放電圧: DC 7 V 以下

※1 光るチャイムなどを接続したときは、
ドアホンから呼び出しがあった場合な
どに信号を出力します。(詳細は P.19)

■対応のSDカード(SD規格準拠品)



対応カード の種類	SDメモリーカード ^{※2} : 2 GB SDHCメモリーカード ^{※2} : 4 GB ~ 32 GB SDXCメモリーカード ^{※2} : 48 GB、64 GB、 128 GB
フォーマット	SDメモリーカード: FAT16 SDHCメモリーカード: FAT32 SDXCメモリーカード: exFAT

※2 専用アダプターを使うと次のカードも
使えます。

- miniSDメモリーカード/
microSDメモリーカード
- miniSDHCメモリーカード/
microSDHCメモリーカード
- microSDXCメモリーカード

● SDカードの容量と録画件数の目安は
(P.14)

ドアホン(カメラ玄関子機)

電 源	ドアホン親機より供給
外形寸法 (mm)(高さ ×幅×奥行) (突起部除く)	約131 × 99 × 26.5
質 量	約220 g
使用環境 条件	周囲温度： -10℃～+50℃ 湿度：90%以下
最大画角	水平 約170°、垂直 約110°
取付方法	露出型： JIS 1 個用スイッチボッ クス適合
外觀材質	金属部：アルミ合金 樹脂部：難燃樹脂
最低被写体 照度	1ルクス (カメラから約50 cm以内)
照明方法	LEDライト(照明用ランプ)
防水性	IPX3*3

※3 鉛直から両側に60°までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

別売品

より便利にお使いになるための別売品が用意されています。別売品をご利用になるときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店へお問い合わせください。

■ ドアホン

カラーカメラドアホン-P6

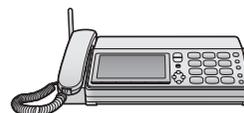
基本セットと合わせて
2台まで接続できます。



■ 電話/ファクス(2020年9月現在)

電話機：DCP-5900Pw/
DCP-5900P

ファクス：P-724PDw/P-724PD



■ ドアホンボックス

U-ドアホンボックス

ドアホンに電話機/ファ
クスを有線接続するときに
設置します。



商標など

- SDXC ロゴはSD-3C, LLC の商標です。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc. の商標または登録商標です。
- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

困ったとき

ドアホンの映像表示や録画画像

人の顔が暗く映る

ドアホンを逆光になる位置に設置していると、来客の顔が暗く映り、識別しにくくなります。

→ 逆光補正をしてください。(P.21)

映像がゆがんで見える

広角レンズのドアホンの場合、カメラレンズの特性により、映像がゆがんで見えることがあります。故障ではありません。

夜間の映像が暗く、顔が識別できない

「ドアホン照明自動点灯」の設定が「しない」になっていませんか？(P.27)

→ 設定を「する」にしてください。

設定を変えても改善できないときは、補助灯などの設置をお勧めします。

映像がはっきりしない(焦点が合わない)

ドアホンのレンズ周りが汚れている、または結露していませんか？

→ 汚れているときは、柔らかい乾いた布で拭いてください。

→ 寒暖の差が大きい季節に結露することがあります。(周囲の温度が常温に戻れば回復します)

→ ドアホンを取り付ける壁に大きな穴が開いている場合は、断熱材(発泡スチロールなど)を用いて、壁の穴を埋めるか、壁とドアホンの間に挟むと結露しにくくなります。

映像全体が白っぽい、または黒っぽい

明るさの設定は適切ですか？

→ 明るさを調整してください。(P.21)

映像が白っぽい、または白い線や輪が表示される

ドアホンのカメラレンズに太陽光などの強い光が当たると、見えにくくなる場合があります。(故障ではありません)

→ 直接、太陽光が当たらない位置に設置してください。

広角レンズのドアホンで、ズーム表示される最初の映像に、見たいエリアが映っていない

ズーム位置が適切に設定されていません。

→ 「ズーム位置設定」をしてください。(P.11)

夜間に録画されたドアホン画像が暗い

夜間などは、ドアホンの画像表示に時間がかかるため、画像が表示される前に自動録画してしまうことがあります。

→「ドアホン録画開始時間」の設定を「遅い」にしてください。(P.26)

広角レンズのドアホンの録画画像で、人が小さく映り顔が識別しにくい

録画時の画面表示がワイドの場合、人が小さく映ります。(録画再生時にズームにすることはできません)

→P.11「ワイド/ズーム設定」を「ズーム」にしてください。

→モニター映像を手動で録画する場合、表示をズームに切り替えてから録画してください。ただし、ズーム画像の画質はワイドに比べて粗くなります。

黒画像(画像なし)が録画されている

音声専用のドアホンを接続していませんか?

→自動録画機能により、着信時に表示される黒画像が録画されます。「ドアホン自動録画」の設定で、音声専用ドアホンの自動録画を「しない」にすることをお勧めします。(P.26)

雨のとき、映像がゆがんで見える

ドアホンのレンズ周りに水が付着すると映像がゆがんで見えますが、故障ではありません。

→雨がやんだあと、柔らかい乾いた布で拭いてください。

呼出音

ドアホンからの呼出音が鳴らない

●呼出音量が「切」になっていませんか?

→呼出音量の設定を確認・変更してください。(P.22)

●呼出音の鳴り分け設定をしていませんか?

→鳴り分け設定を確認してください。(P.23)

来客応答・通話

音声応答がうまくいかない

応答の音が小さかったり、「はい」などの声を長く(約1秒以上)伸ばしすぎたりすると、うまく応答できません。

→「ピッ」と鳴るまで、声の大きさや長さを変えて応答してみてください。

通話が途切れる、または、ほとんど聞こえない

自分の周り、または通話相手の周りで、車や電車などが通る音、ペットの鳴き声、テレビの音、子供の泣き声など、大きい音がしていませんか?

→周りの音が大きいと、通話が途切れることがあります。プレストーク通話に切り替えると、話しやすくなります。(P.12)

他機器との連携

電話/ファクスで、ドアホン2からの呼び出しが「ドアホン1着信中」と表示される

U-ドアホンボックスで本機に接続した電話/ファクスでは、2台のドアホンからの呼び出しを表示で区別することはできません。(故障ではありません)

その他

- 画面に「展示モード」と表示されている
- 呼出音が定期的に鳴る
- 通話ができない

「展示モード(販売店専用)」が設定されています。

→「展示モード(販売店専用)」の設定を「しない」にしてください。(P.27)

正しく操作しても動かない、動作がおかしい

ドアホン親機のリセットスイッチ(P.8の)を先端の細いもので押してください。(録画された画像、登録した設定内容などは消えません)

ドアホン親機が動作しない(映像が映らない、呼出音が鳴らない、音声が出ない)

- 電源プラグがコンセントから外れている、または外れかけていませんか？
→ 電源プラグを一度外してから、しっかりとコンセントに差し込んでください。それでも直らないときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 電源直結工事をして、ご使用のとき
→ 当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店にご相談ください。

設定内容を元(お買い求め時の状態)に戻したい

「初期化」をしてください。(P.27)

こんな表示が出たら

コード番号(U●●)付きのメッセージが出たときはコード番号で検索してください。コード番号なしのメッセージは、「その他の表示(コード番号なし)」欄に記載しています。

- 記載したコード番号や表示の一覧は、お問い合わせの多いものなどを抜粋したものです。記載以外のコード番号や表示が出ることもあります。

U1● (接続エラーなど)

表示	原因と対応
U11	<p>次のことが考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ドアホンとドアホン親機間の配線に問題がある → 接続状態や配線を確認してください。 ● 接続対象外のドアホンが接続されている → 接続可能なドアホン(P.32)をお使いください。

U2● (SDカード関連)

表示	原因と対応
U25	<p>フォーマットされていないSDカード、またはパソコンなどの他機器でフォーマットされたSDカードです。 → 本機でフォーマットすると使える場合があります。表示に従ってフォーマットしてください。</p>
U27	<p>本機以外(デジタルカメラなどで保存されたデータがいっぱい)のため、本機で使用するための容量が不足しています。 → データを保存した機器で不要なデータを削除してから再挿入するか、本機でフォーマットしてください。(P.28)</p>

その他の表示(コード番号なし)

時計を設定してください [決定] ボタンを押すと時計を設定できません	
原因と対応	<p>日時が設定されていません。または、停電などにより、設定した日時が消えています。 → 設定してください。(P.10)</p>
着信中の機器があります 親機では「鳴らない」設定です	
原因と対応	<p>呼出音の鳴り分け設定(P.23)で、鳴らない設定にしたドアホンから着信中です。 → ドアホン親機では応答できません。</p>

さくいん

アルファベット

LEDライト(照明用)	10
SDカード	7
●録画件数	14
●フォーマット	28
●コピー(本体メモリーからSDカード)	29
●フォルダー構造	30

あ行

明るさ設定	21
液晶ディスプレイ	8
お知らせ画面	28
お手入れ	7
音声応答	12, 25
音量を変える	
●呼出音量	22
●受話音量/送話音量	23

か行

ガイド表示	20
画像→「録画」を参照	
カメラレンズ	10
逆光補正	21
警報器/コール機器	18

さ行

再生(画像)	16
室内呼(室内通話)	13
修理	37
受話音量	23
仕様	31
消去(画像)	17, 26
情報表示画面	28
照明設定(ドアホン)	
●自動点灯設定	27
●手動ON/OFF	21
初期化	27
新着ありランプ	8
●ランプの点灯設定	27
ズーム位置設定	11
ズーム表示	11, 20

スピーカー	8, 10
増設スピーカー	18
増設モニター	17
送話音量	23

た行

ただいまコール	10
通話ランプ	8
電話/ファクス	17, 32
ドアホン	10
ドアホン親機	8
ドアホンボックス	17, 32
時計	10
トップメニュー	9

な行

鳴り分け	23
日時設定	10

は行

バン・チルト	20
光るチャイム	19
非常ボタン	18
ファクス	17, 32
プレストーク通話	12
別売品	32
保護/保護解除	17
保守サービス	37

ま行

マイク	8, 10
メロディサイン	19
モニター(様子を見る)	13

や行

呼出音(種類を変える)	22
呼出音量	22

ら行

リセットスイッチ	8, 34
----------------	-------

録画

●画像全消去	26
●画像の個別消去	17
●画像の保護/保護解除	17
●自動/手動録画	15
●録画の再生	16
●録画の自動更新	14
●録画番号	16

わ行

ワイド/ズーム	11, 20
ワイド表示	11, 20

設定(機能名)から探す

【最初の設定】

日時設定	10, 24
ワイド/ズーム設定	11, 25
ズーム位置設定	11, 25

【呼出音の設定】

呼出音量	22, 25
呼出音	22, 25

【応答の設定】

音声応答	25
鳴り分け	23, 25

【録画再生の設定】

ドアホン録画開始時間	26
ドアホン自動録画	26
画像全消去	26

SDカードの

フォーマット	26, 28
本体からSDカードへのコピー	26, 29

【接続機器の設定】

ドアホン接続	26
増設モニター	27
A接点出力	27
外部入力	27
ドアホン照明自動点灯	27

【その他の設定】

新着ありランプ点灯	27
初期化	27
展示モード(販売店専用)	27

保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。）（故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要となります。

● 故障に関するお問い合わせ

局番なしの113番（無料）へご連絡ください。

※携帯電話・PHSからは「0120-000113」（無料）にてお受けしております。

受付時間：午前9時～午後5時 年中無休（※Webでは24時間年中無休）

NTT通信機器お取扱相談センター

■ NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：  0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■ NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：  0120-248995

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

● **補修用部品の保有期間について**

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

MEMO

- 本商品は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- This product is designed for use in Japan.
NTT cannot provide service for this product if used outside Japan.

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：

【東日本】 https://web116.jp/ced/index_biz.html

【西日本】 https://flets-w.com/solution/kiki_info

使いかたなどでご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター

- NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

- 本商品の取り扱いに関するお問い合わせ



0120-970413

(03-5667-7100※)

※ 携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります

受付時間 9:00～17:00

※ 年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

- NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

- 本商品の取り扱いに関するお問い合わせ



0120-248995

(携帯電話・PHSからも利用可能です)

受付時間 9:00～17:00

※ 一部時間帯は録音受付による対応となります。

※ 年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。



©2020 NTTEAST・NTTWEST

本3531-1 (2020.12)

カラーカメラ*アホン-P6/カラーカメラ*アホンモニター-P6トリセツ



PNQX9126ZA

PNQX9126ZA
Printed in Vietnam